

令和5年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要

日 時	令和5年8月17日(木) 18時00分から 19時30分まで
開催場所	鎌倉商工会議所 102 会議室
出席者	<p>[推進委員会委員(名簿順)]</p> <p>○13名出席</p> <p>岸川委員(委員長)、今井委員、氏家委員、國分委員、笠間委員、八木委員、秋元委員、高橋委員、太田委員、金子委員、橋本委員、横溝委員、和田委員</p> <p>[鎌倉市障害者福祉計画推進会議 幹事委員]</p> <p>○5名出席</p> <p>[事務局]</p> <p>○3名出席</p> <p>以上、21名出席</p> <p>「鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員名簿」を参照</p> <p>[傍聴者]</p> <p>なし</p>
配布資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・第1回推進委員会次第・令和5年度資料送付通知・(資料1) 障害者福祉計画推進委員会委員名簿・(資料2) 第2回推進会議 会議結果・(資料3) 令和4年度第3回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会会議結果概要(案)・(資料4) 令和4年度推進状況報告書(案)・(資料5) 福祉に関する実態調査 調査結果報告書

	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料6) 福祉に関する実態調査 調査結果報告書(その他意見等) ・(資料7) 鎌倉市障害福祉サービス提供実態調査結果報告書 ・(資料8) 「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」改正後 概要 ・(資料9) 第5次障害者基本計画(概要) ・(資料10) 鎌倉市障害者福祉計画策定スケジュール ・(資料11) 実態調査分析レポート ・(資料12) 障害者福祉計画の策定について ・(資料13) 計画の考え方について ・(資料14) 令和5年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進会議 会議結果概要
会議概要	<p>○事務局より会議の成立及び会議の趣旨について説明</p> <p>議題1 令和4年度(2022年度)障害者福祉計画推進状況報告書(案)について</p> <p>事務局より、(資料4)に基づき、推進状況報告書(案)の修正箇所及び第3章4「個別事業の推進状況」の、令和5年度(2023年度)の事業方向性を「縮小・廃止・見直し」若しくは「拡大・前進」としている事業について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 今回の推進状況報告書が、第3期鎌倉市障害者基本計画の最後の報告書となるのか。 ・(事務局) <ul style="list-style-type: none"> 第3期障害者基本計画は平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)までの計画であるため、来年度(令和6年度)も策定する。来年度(令和6年度)に策定する令和5年度(2023年)障害者福祉計画推進状況報告書が最後の報告書となる。 ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 推進状況報告書の内容はどのようにして、次期障害者基本計画に反映させるのか。 ・(事務局) <ul style="list-style-type: none"> 各課が行っている個別事業の実施状況の報告を受け、それらの個別事業を次期計画にどのように反映させるかを検討するため、現在、各課が行っている個別事業や今後実施予定の個別事業について、庁内照会をしているところである。 ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 推進委員会の開催が年4回では少ないため、庁内会議である推進会議でどのような方針が出たのか、推進会議の内容についても知っておきたい。

障害者基本計画で国の計画を踏襲していると、どこの自治体も同じような計画となってしまう。庁内会議で方針を決めて、鎌倉市独自の計画を作ってほしい。

・(事務局)

骨格は国の基本計画を踏襲することとするが、推進状況報告書の評価結果を計画にどのように反映させるかを検討し、市の独自性については個別事業で出していく。

議題2 次期計画の策定について

(1) スケジュール確認

事務局より、(資料10)に基づき説明。

(2) 福祉に関する実態調査等の結果報告

事務局より、(資料11)に基づき説明。

・(委員)

実態調査は障害者福祉サービス計画に反映させるものだから数量が必要である。ニーズとのマッチングができていないものがあると思う。鎌倉は3種類の実態調査をしている。結果の分析はコンサルに頼めばよい。

・(委員)

質問が3つある。1つ目は、自由記述で回答期間が短かったというものが、その理由について。2つ目は、事業主への働きかけに関する分析を行ったかどうか。3つ目は、クロス集計で見えたことが分析に含まれているか。

・(事務局)

1つ目については、郵送の調整で時間がかかり回答期間が短くなってしまった。2つ目と3つ目についてはまだできていない。

・(委員)

調査結果については、Windows11に入っているMicrosoft Bingを使うと、データを入力してチャットで指示すると、分析してくれる。

・(委員)

クロス集計で課題が見えないと計画に反映させられない。

・(委員)

実態調査の結果が計画にどのように反映されているのかわからない。

制度や助成について知らない人もいます。市役所は聞きに行けば教えてくれるが、聞かないと教えてもらえない。自分のように聞きに行かれる人はよいが、そうでない人もたくさんいる。周知が不十分であるため、広報をしてほしい。

・(事務局)

現在、市の情報提供に課題があると感じており、情報を必要としている人に必要な情報が届くようプッシュ型の支援を検討しているところである。

・(委員長)

実態調査から見えた課題を計画にどのように反映させるのか、例えば、情報にアクセスできない人にどのように情報を届ける工夫ができるか、はポイントだと思う。

また、地域での生きにくさを感じている人がいるなら、地域の課題について関係者で共有、議論をしていく場というのは、障害者支援協議会の役割であると思う。

実態調査の分析について、気が付いた点や、整理が必要な観点などの意見があれば、ぜひいただきたい。

(3) 骨子について

事務局より、(資料8、9、12、13)に基づき説明。

・(委員)

重点課題を削ったことで、全体の整合性が取れるようになったのではないかと。

・(委員長)

第4期障害者基本計画の骨子は、重点課題を削り、その他説明のあったとおりとし、内容については、実態調査の結果や、障害者支援協議会からの意見などを含めて、皆さんと議論しながらより良いものができればと思う。

この基本計画は、6年間の計画になるため、6年後の世界を想像してみると、一つは、人工知能がどのように社会に影響を与えているのかということ。もう一つは、災害が激甚化しているということ。国の基本計画の項目では防災、防犯とあるが、これは防犯ではなく災害で、これからの6年間で災害支援が重要になってくると思う。さらに、国の基本計画の項目にはないが、人材の確保も考えなければいけないと感じる。今、現場で感じる事として、人手不足がある。制度が整っても支援する人がいない状況を考えると、今回策定する計画は、6年後の世界を考えながら策定していかなければいけないと思う。

議題3 その他

・(事務局)

推進状況報告書については、いただいた意見を反映させた上で、委員長と協議し、内容を決定させていただく。

ご了承いただけるか。

・(委員)

了承。

・(事務局)

これで第1回推進委員会を終了する。

以上